

第1回建築設計競技が開催され、日本全国の一般大学・大学院学生、職業能力開発関係施設で学ぶ学生・受講生、工業高校生徒より77作品の応募が寄せられました。この度、6名の審査委員により作品審査を行いました。「3世代が住む狭小住宅」をテーマにしていたことから、家族の生活とは何か、ロケーションや地域への適応、狭小地の空間利用、時間の経過による配慮など、様々な観点から評価を行いました。とても魅力的な作品が多いなか、次の作品が審査員に高く評価され、受賞となりました。誠にありがとうございます。

優秀作品につきましては、2018実践教育研究発表会において作品プレゼンテーションをして頂くと共に、全体交流会において表彰されます。また、研究発表会期間中は、上位20作品を会場に展示しますので、ぜひ優秀作品をご覧ください。

次年度も同じ時期に第2回建築設計競技を開催する予定です。これからの目標の一つにして頂ければ幸いです。  
(2018年7月9日 審査委員長:和田浩一)

■ 入賞者

1等 実践教育建築デザイン賞

「時と家族の器 — 街と共に住まう住宅の残り香 —」

東京理科大学 大学院 楊 翌呈・山西 真季



【講評】

作品は、核家族が住む永遠に普遍的なnLDKに対して疑問を持ち、3世代が一つ屋根の下に住む住宅を再考している。その結果、時間とともに変化する家族の住まい方に対し、空間の境界を変化させながら台東区谷中に溶け込む3世代住宅を提案している。3世代の時は、個室を縁側で連続させ、世代の数に応じて地域住民に開放して地域との共生を図っている。この作品は、時間とともに変化する家族に対応し、平屋で床面積を抑えながらフレキシブルに対応させることができる。さらに地域と結びつきながら住み手の生活意識の豊かさを引き出していることが全ての審査委員から高く評価された。

■ 審査委員

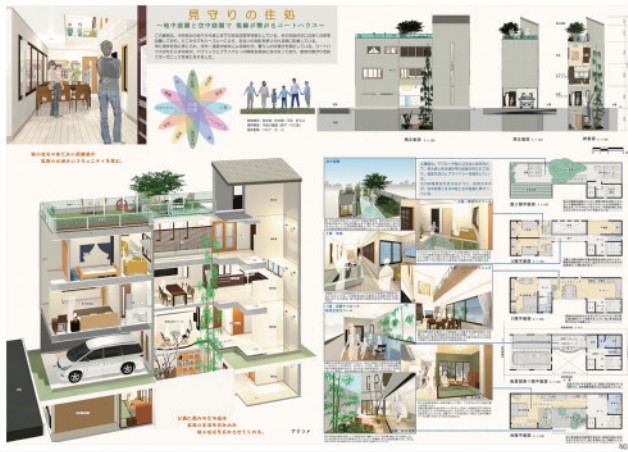
- |       |   |
|-------|---|
| 審査委員長 | 職業能力開発総合大学校 能力開発院 教授 和田 浩一                    |
| 審査委員  | 東北職業能力開発大学校 特任教授・実践教育訓練研究協会 建築・デザイン系部会長 星野 政博 |
|       | 山形県立産業技術短期大学校 建築環境システム科 教授 江川 嘉幸              |
|       | メガソフト株式会社 アカウントマネージャー 吾妻 恭臣                   |
|       | 株式会社 総合資格 執行役員/営業部 部長 安島 才雄                   |
|       | 株式会社 松下産業 代表取締役社長 松下 和正                       |



## 2等 メガソフト株式会社賞

### 「見守りの住処 ～地中庭園と空中庭園で視線が繋がるコートハウス～」

東北文化学園大学 庄子 夏姫



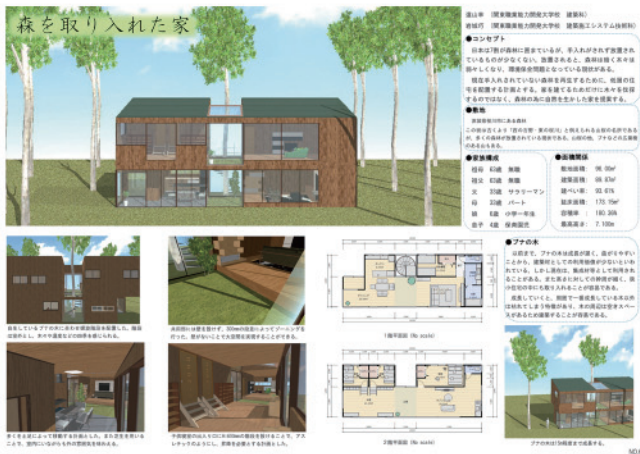
#### 【講評】

作品は、3世代が同居する狭小住宅の中に、地階から屋上まで吹き抜けた中庭を設け、視線を配慮する家族の見守りを提案している。この視線が、世代間の空間の独立と家族のつながりのバランスに配慮し、コンセプトを実現している。意図する多層空間を表現するためにCAD・CGを巧みに活用して細部まできれいに仕上げられ、生活のシーンを分かりやすくプレゼンテーションしたことが高く評価された。

## 2等 株式会社 総合資格学院賞

### 「森を取り入れた家」

関東職業能力開発大学校 遠山 幸・岩城 巧



#### 【講評】

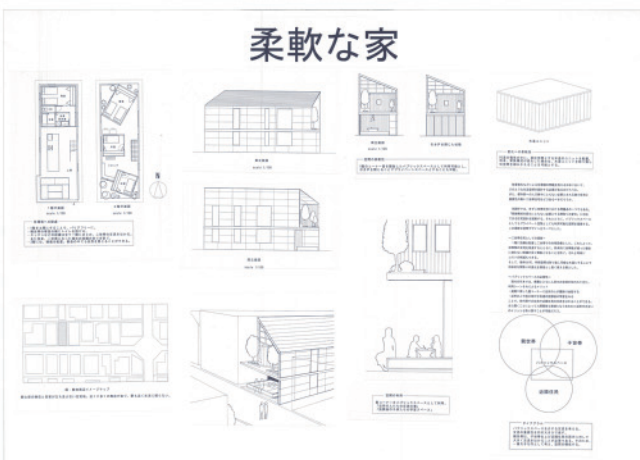
作品は、手入れされず放置されている森林に着目し、環境保全問題を課題としている。その結果、自生しているブナの木々の特性を生かしながら外界の温度や四季を感じられる屋外螺旋階段を提案している。また、上下階に家族が集う大きな空間を配置し、中央にある透明度が高い空間で建物全体を左右に分節している。環境保全問題となっている森林やブナの木々の欠点を利点として捉えながら、自然に溶け込む空間を提案していることが高く評価された。

## 2等 株式会社 松下産業賞

### 「柔軟な家」

職業能力開発総合大学校

西本 烈弥



#### 【講評】

作品は、シェルターとしてのRC造躯体の中に、軟らかい木造ユニットとしての各部屋を配置することで時代と共に変化する家族の状況へ柔軟性に対応できる混構造のスケルトンインフィル住宅を提案している。また、狭小住宅の提案でありながら、世代間の交流と近隣住民とのコミュニケーションを図るパブリックスペースを設定している。図面表現はシンプルであるが、コンセプトが優れていると高く評価された。

### ■ 建築デザイン設計競技事務局

(一社) 実践教育訓練研究協会

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-18-36-203

TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652

<http://www.jissen.or.jp>

